



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2022年  
4月27日  
発行

第 131 回

「近づく5月9日」

## ～プーチン露大統領の決断は～

### 初めに

5月9日のロシアの対独戦勝記念日が近づいてきました。もともとプーチン氏はこの日に勝利宣言するとみられていましたが、予想外のウクライナの健闘により、プーチン氏の思い通りに物事が運ぶかどうかは混沌としています。自分は、プーチン氏は一応勝利宣言するものの、ロシア軍の消耗が大きいことやロシア国内でも遠征に批判が高まっていることなどから、このタイミングで停戦合意に応じる可能性があるかとみています。今回は、ウクライナ紛争の行方や、世界の株式市場のもう一つ重石になっているインフレの先行きなどについて考えます。

### ロシア軍の消耗

4月24日の日本経済新聞は、米国防総省高官が4月19日時点でロシア軍はウクライナ侵攻前に揃えた戦力の4分の1を失ったと推計した、と言う記事を掲載しました。また、黒海艦隊の旗艦モスクワが爆発・沈没しましたが、ウクライナ側はこれをウクライナ軍のミサイル攻撃によるものと主張していて、ウクライナ軍の健闘によってロシア軍は大きな打撃を被っている模様です。こうした中、米国のブリンケン国務長官とオースティン国防長官はキーウを訪問し、追加的な武器の支援について協議しました。これにより、ウクライナ側の戦力は一段と拡充されると思われます。

こうした状況から考えると、5月9日までにプーチン氏が当初考えていたような成果をあげることは極めて困難であり、勝利宣言をしたとしても停戦合意の受け入れを含む他の道を受けざるを得なくなると考えられます。プーチン氏の決断が注目されます。

米国からウクライナへの主な軍事支援
地对空ミサイル「スティンガー」1400基以上
携帯型の対戦車ミサイル「ジャベリン」5500基以上
自爆攻撃機能がある無人機「スイッチブレード」700機以上
旧ソ連製ヘリコプター「Mi17」11機
155ミリリゅう弾砲90門
新型無人機「フェニックスゴースト」121機以上
レーザー誘導ロケット砲

日本経済新聞4月25日朝刊3面

『米、武器供与を拡大

国務・国防長官、キーウ訪問へ 経済制裁を補完』内の図表を引用

(裏面へつづく)



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。

## インフレは続くが一時的に緩和

ここからは、ウクライナ紛争と並んで株式市場の不安要因となっているインフレについてお話しします。当レポートでは昨年春頃からインフレに言及していますが、それから1年経つのに依然として世界経済や株式市場にとって大きな問題となっています。ただ、この先一旦はインフレが緩和する場面があると自分はみています。そもそも、このインフレの原因は、企業のグローバル化やIT化によるコスト削減が限界まで進んだため、コストを顧客に転嫁し始めたことにあります。これに地球温暖化やサプライチェーンの問題などが加わり、インフレが悪化しました。

こうした状況は簡単には変わるとは思えませんし、インフレ的な状況はまだ続くと思います。但し、最近のインフレについてはウクライナ紛争による様々な物資の不足が原因となっているのはご存知の通りです。もし、先程お話ししたように5月9日以降プーチン氏が停戦に前向きになるようであれば、その分、物価上昇も落ち着くと思います。このインフレの観点からもプーチン氏の決断が注目されます。



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!

